

# ☆読書感想文集の校正基準

## 1 本文について

- 感想文集となって県下に配布されるので、特に人権に関わる文章には気をつける。
- 明らかに特定の人物が判明する文章にならないよう、表現の変更をお願いする。
- すべての名前は、応募票や学校に問い合わせるなどして厳重に確認する。

## ① 書籍名について

書籍名は題名・本文・短評・概評はすべて『』でくくる。  
ただし、題名は内容にふさわしいものを考えてつけるのが望ましく、**題名・副題に書籍名を用いる必要はない。**

※長い題名のレイアウトは印刷業者に一任するが、スペース等の希望は入れておく。

## ② 符号について

- A 本文の最初や、段落がえをしたときの文頭に「」が入る↓半マスのみ空ける。
- B 会話の「」は、最初のマスから入れる。

|   |   |   |
|---|---|---|
| と | 「 | ・ |
| 言 | 私 | ・ |
| っ | は | 彼 |
| た | ・ | 女 |
| 。 | ・ | が |
|   | ・ |   |
|   | ・ |   |
|   | 」 |   |
|   |   |   |

||半マスのみ空ける。

## 2 対象図書の表記(作品の後ろの部分)について

- A 国内本 || 著者名のみ (著・作は、省略)
- B 翻訳本 || ○○著または○○作 (区別する) △△訳
- C 短編集の中から一編を選んで書いている場合は、  
本(短編集)の名前を表記する。

作品の題名にはその編の名前のみを表記する。

※ A・B・C いずれも**作者名『書籍名』(出版社名)**の形。

### 3 その他の部分について

- **名前・学校名の確認は、特に慎重に行う。**
  - ※ 佳作作品は県が上がってこないなので、支部の段階で厳重にお願いする。
- 類別の確認を慎重に行う。  
(指定図書が自由図書に混ざっていることがあります。)
- 賞の確認をする。
- 入選者・佳作者名簿には、「分校名」は入れない。